

広島市植物公園 見どころ案内

エビネ(春咲き)

(ラン科)

林の中の風通しの良いところに咲く花で、古くから観賞用としても栽培されてきました。小さくて可憐な花を咲かせています。

2019年5月11日

通巻第414号

展示会のご案内

◇展示資料館 1F (5/8~6/5)

趣味のボタニカルアート展

◇展示温室 (5/11~5/23)

ハーブ展

ミヤコワスレ (キク科)

春咲きのノギクです。濃い紫や淡い青の花が群生して風情があります。来月にはすぐ近くのモミジの枝にモリアオガエルの卵が産み付けられます。

フタリシズカ (センリョウ科)

名は静御前の舞姿にちなみます。フタリシズカとはいいながら、2本以上花穂があがることがあります。近縁のヒトリシズカは花穂が1本です。

バラ (バラ科)

モダンローズ、オールドローズ、世界の野生種、広島に関わるバラなど700種を植栽しています。詳しくはローズフェスティバル 2019ガイドマップをご覧ください。

ハーブ展

ハーブとして利用されている植物とその利用法を紹介します。

ヒスイカズラ (マメ科)

フィリピン原産の絶滅危惧植物。大温室改修工事により、4年ぶりの開花となります。珍しい翡翠色をした花の房は大変見事です。

オルレア (セリ科)

ヨーロッパに自生するセリ科の一年草で春~夏にかけて純白の花を咲かせます。日本での栽培の歴史はまだ浅いですが、庭のアクセントとして栽培する人が増えています。

ヒメウツギ (ウツギ科)

名前の通りウツギよりも小型な木です。丈夫で管理しやすく、綺麗な白い花を咲かせるため、庭木として人気があります。

サラサドウダン

(ツツジ科)

別名フウリンツツジ。更紗はインドの織物のことで、淡黄の地に紅色の縞模様の花は繊細で美しい。近くではシャクナゲも咲いています。

キシケイ (モクセイ科)

ヒマラヤ原産。ソケイはジャスミンの別名。同属ですが、香りはありません。

ヒトツバタゴ

(モクセイ科)

日本では対馬と木曾川流域にしか自生していない珍しい木。花が満開の時には雪のようで美しい。別名「ナンジャモンジャノキ」とも呼ばれることもあるが、ヒトツバタゴ以外の木もそう呼ばれることがあるので注意。

ログガーデン

バラが賑やかになってきました。エリシマムやジギタリス、ガザニア、オガタマなど草花もいろいろ咲いており、賑やかです。



♣毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します♣
 ♣毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します♣